

令和3年10月14日

保護者 各位

うるま市立学校給食センター  
所長 大嶺 公律

### 防災訓練にあわせた給食の提供について

#### 1 ねらい

11月5日の「津波防災の日」における、本市一斉防災訓練にあわせて、うるま市内の全児童生徒を対象に非常食を活用した給食提供をおこない、災害時における食事等についての知識を深め、防災教育につなげる。

#### 2 対象

うるま市内小中学校児童生徒、幼稚園児、教職員

#### 3 実施日

令和3年11月5日(金) 各校給食時間

#### 4 防災給食の内容とねらい(当日は、うるま市内全小中学校で統一の献立となっています。)

献立名	献立のねらい	食べ方	その他
牛乳	栄養価の確保	通常どおり	
ぬちまーすごはん	災害時における食事の工夫を伝える。	児童生徒の発達段階に応じ、通常と同じ様に食べるか、ビニール袋を使用し、自分で「おにぎり」を作って食べる。	給食センターより、各クラスへビニール袋を配布します。
非常食 (給救カレー) アレルギー特定原材料等28品目は使用しておりません	非常食の食体験をする。	レトルトパウチ商品 そのまま開封して、備え付けのスプーンで食べる。	1人1個ずつ提供 (東日本大震災の際に、学校給食の提供が不可能になった経験をもとに全国学校栄養士会で開発された商品です。)
すいとん	災害時に作られる炊き出しについて知る。	通常通り食べる。食べる際は、非常食についているスプーンを使用する。	災害時を想定して、炊き出しとしてよく作られる、すいとんを給食センターで作ります。

※食物アレルギーに関しては、通常通り献立表で表示の確認をお願いします。

#### 5 その他

うるま市は海に多く面していて、地震の際は津波が心配です。また、うるま市には大きな断層があります。「自分のところは大丈夫だろう。」ではなく、「いつ起きてもおかしくない。」と意識することが必要です。この取り組み後に、子ども達が少しでも災害に対応できる力を身に付けることができることを願っています。また、いざという時の生活には、食料品や生活必需品の備えが欠かせません。ご家庭でも話し合い、災害に備える機会になると嬉しく思います。